

2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月8日

上場会社名 株式会社エーワン精密 上場取引所 東
コード番号 6156 URL <https://www.a-one-seimitsu.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 林 哲也
問合せ先責任者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 林 哲也 (TEL) 042-363-1039
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年6月期第1四半期の業績（2024年7月1日～2024年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	395	△2.1	14	△76.6	22	△64.3	15	△63.9
2024年6月期第1四半期	404	△9.5	61	△30.1	61	△26.3	41	△27.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	3.01	—
2024年6月期第1四半期	8.36	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第1四半期	8,319	7,558	90.9
2024年6月期	8,946	8,188	91.5

（参考）自己資本 2025年6月期第1四半期 7,558百万円 2024年6月期 8,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2025年6月期	—	—	—	—	—
2025年6月期(予想)	—	0.00	—	100.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	855	5.7	119	10.6	129	13.0	90	15.2	17.94
通期	1,800	12.4	283	72.0	305	70.4	213	76.7	42.46

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年6月期1Q	5,300,000株	2024年6月期	5,300,000株
② 期末自己株式数	2025年6月期1Q	285,772株	2024年6月期	283,472株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年6月期1Q	5,015,569株	2024年6月期1Q	5,005,540株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 :
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項 :

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期損益計算書関係)	7
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、景気の方向性がはっきりしない状態のなか横ばいとなりました。

米国は勢いが落ちてきたものの個人消費を中心に好調を維持していて、インフレ抑制のため引き上げた金利を景気後退することなく引き下げへと移行してきています。米国製造業については景況感が悪化しており、受注は減少しました。中国は長引く不動産市況低迷で財政政策や政策金利引き下げを行い景気てこ入れを図っており、生産用設備投資は底打ちから上昇へと転じてきました。欧州はドイツが製造業中心に景気が悪化していて、他の国は景気の底打ちして緩やかな回復傾向となりました。東南アジアは中国から製造拠点をベトナムなど近隣諸国に移す動きも出てきていて、製造業の生産は回復傾向となりました。

日本国内では、大手製造業は海外生産比率や輸出比率が高いため、為替レートの変動はありましたが、1ドル150円前後で推移していて業績は堅調な企業が多くなりました。ここ2年ほど落ち込んでいた半導体生産がやや上向いてきたことと、落ち込みの大きかった中国景気が底をうち、多少増加の兆候が出てきたことで、工作機械や製造装置などの生産設備が少し上向いてきました。国内製造業では世界経済の先行きが不透明なことなどを受けて、システム投資を除く設備投資は鈍化しています。大手企業は円安傾向が継続したことから業績は堅調でしたが設備稼働率は低下している企業があり、外注先に出る仕事量は絞られてきていて中小企業の景況感は悪化しました。部分的に受注量の多い企業もありましたが、総じて国内製造業の機械稼働率は低調に推移しました。

このような状況のなかコレットチャック部門では、前期までの流れを受け7、8月と低位で推移しました。9月は大手企業で決算期末のところが多く、やや受注は増加しました。期を通しては多種小中ロットの部品加工が増える傾向で、その分新たな工具需要が起き当社に受注が入ることはありましたが、量産部品加工の工具補充は減少して当部門の受注も微減となりました。

この結果、当セグメントの第1四半期累計期間の売上高は277,501千円（前年同期比2.4%減）、セグメント利益は98,403千円（前年同期比14.9%減）となりました。

切削工具部門では、自動車部品加工は台風などで操業停止などあり生産に影響を受けた部分もあり、他の業種では大手企業の機械稼働率が低下して、外注先に出る仕事量はさらに減少して、国内製造業全体の機械稼働率は低調となり、当部門の受注も減少しました。特に8月は大手企業工場が夏季休暇で生産を落としたため落ち込みが大きくなりました。9月は大手企業で決算月のところも多く20日ごろまでは受注は高まりましたが、その後は減少しました。

別注切削工具の製作・再研磨は、ユーザーごとに必要な工具をオーダーで製作するものであり、多様な形状に短納期対応することで顧客層は拡大してきていますが、国内製造業での仕事量が減少して当部門の受注も減少となりました。売上高は36,434千円（前年同期比4.1%減）となりました。

市販切削工具の再研磨は、幅広い業種の切削加工で使用される切削工具の再研磨をしていますが、大半の顧客企業の仕事量が減少して、それに連動して当社の受注も減少しました。売上高は79,211千円（前年同期比0.6%減）となりました。また当部門は人員を多めに手当てしたことにより人件費が増加して、コストは大幅に増加しました。

この結果、当セグメントの第1四半期累計期間の売上高は115,645千円（前年同期比1.7%減）、セグメント損失は3,758千円（前年同期は15,826千円の利益）となりました。

自動旋盤用カム部門では、カム式自動旋盤で加工する量産部品が減少して当社の受注も減少しましたが、2024年に受注単価を上げたことにより売上高は増加しました。

この結果、当セグメントの第1四半期累計期間の売上高は2,605千円（前年同期比11.9%増）、セグメント損失は919千円（前年同期は2,586千円の損失）となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は395,752千円（前年同期比2.1%減）、営業利益は14,305千円（前年同期比76.6%減）、経常利益は22,043千円（前年同期比64.3%減）、四半期純利益は15,093千円（前年同期比63.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、5,391,302千円（前事業年度末は6,569,229千円）となり1,177,926千円の減少となりました。これは、その他が10,057千円、受取手形及び売掛金が7,271千円、仕掛品が6,795千円増加しましたが、現金及び預金が1,177,851千円、前払費用が24,987千円減少したこと等によるものであります。

また、当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、2,927,979千円（前事業年度末は2,377,430千円）となり550,548千円の増加となりました。これは、建設仮勘定が85,299千円、建物及び構築物が5,216千円減少しましたが、投資有価証券が471,971千円、機械装置及び運搬具が92,368千円、繰延税金資産が72,590千円、有形固定資産のその他が898千円増加したこと等によるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における総資産は、8,319,281千円（前事業年度末は8,946,659千円）となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、240,498千円（前事業年度末は210,657千円）となり29,841千円の増加となりました。これは、未払法人税等が8,468千円、役員賞与引当金が3,839千円減少しましたが、未払金が36,490千円、その他が2,914千円、買掛金が2,744千円増加したことによるものであります。

また、当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、519,856千円（前事業年度末は547,549千円）となり27,692千円の減少となりました。これは、退職給付引当金が27,466千円、その他が226千円減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における負債合計は、760,355千円（前事業年度末は758,206千円）となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、7,558,926千円（前事業年度末は8,188,452千円）となり629,526千円の減少となりました。これは、利益剰余金が486,559千円、その他有価証券評価差額金が142,967千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の見通しにつきましては、2024年8月9日発表の業績予想どおりとなる見込みであります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,917,303	4,739,452
受取手形及び売掛金	285,641	292,913
製品	2,357	3,019
原材料	40,736	40,878
仕掛品	273,540	280,336
前払費用	46,251	21,264
その他	3,479	13,536
貸倒引当金	△81	△97
流動資産合計	6,569,229	5,391,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	392,096	386,880
機械装置及び運搬具(純額)	396,024	488,393
建設仮勘定	122,006	36,707
土地	333,534	333,534
その他(純額)	10,759	11,658
有形固定資産合計	1,254,421	1,257,173
無形固定資産	51,478	55,078
投資その他の資産		
投資有価証券	873,002	1,344,974
長期前払費用	3,412	3,046
繰延税金資産	194,957	267,548
その他	271	316
貸倒引当金	△113	△158
投資その他の資産合計	1,071,530	1,615,726
固定資産合計	2,377,430	2,927,979
資産合計	8,946,659	8,319,281
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,850	17,594
未払金	116,443	152,934
未払法人税等	29,896	21,427
役員賞与引当金	4,380	541
その他	45,086	48,000
流動負債合計	210,657	240,498
固定負債		
長期末払金	139,670	139,670
退職給付引当金	405,880	378,413
その他	1,999	1,773
固定負債合計	547,549	519,856
負債合計	758,206	760,355

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	292,500	292,500
資本剰余金	356,627	356,627
利益剰余金	7,535,265	7,048,706
自己株式	△194,566	△194,566
株主資本合計	7,989,825	7,503,266
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	198,627	55,659
評価・換算差額等合計	198,627	55,659
純資産合計	8,188,452	7,558,926
負債純資産合計	8,946,659	8,319,281

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上高	404,224	395,752
売上原価	275,395	302,027
売上総利益	128,828	93,725
販売費及び一般管理費	67,707	79,419
営業利益	61,120	14,305
営業外収益		
受取利息	48	89
有価証券利息	—	3,556
売電収入	51	283
貸倒引当金戻入額	10	—
作業くず売却益	454	78
補助金収入	—	3,600
その他	76	481
営業外収益合計	640	8,089
営業外費用		
株式報酬費用消滅損	—	351
営業外費用合計	—	351
経常利益	61,761	22,043
特別損失		
固定資産除却損	902	—
特別損失合計	902	—
税引前四半期純利益	60,858	22,043
法人税、住民税及び事業税	33,111	17,977
法人税等調整額	△14,112	△11,027
法人税等合計	18,999	6,950
四半期純利益	41,859	15,093

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

譲渡制限付株式報酬の付与対象者の退職に伴い、譲渡制限付株式割当契約に基づき割り当てた当社普通株式2,300株の全てを当社が無償取得したことにより、前払費用として計上していた、該当事契約期間の未経過分を株式報酬費用消滅損で営業外費用として計上しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	284,221	117,673	2,329	404,224	—	404,224
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	284,221	117,673	2,329	404,224	—	404,224
セグメント利益又は損失 (△)	115,588	15,826	△2,586	128,828	△67,707	61,120

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	277,501	115,645	2,605	395,752	—	395,752
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	277,501	115,645	2,605	395,752	—	395,752
セグメント利益又は損失 (△)	98,403	△3,758	△919	93,725	△79,419	14,305

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	36,253千円	39,719千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コレット チャック部門	切削工具部門			自動旋盤用 カム部門	
		別注切削工具の 製作・再研磨	市販切削工具 の再研磨	小計		
工具製作	284,221	37,987	—	37,987	2,329	324,538
その他	—	—	79,685	79,685	—	79,685
顧客との契約から生じる 収益	284,221	37,987	79,685	117,673	2,329	404,224
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	284,221	37,987	79,685	117,673	2,329	404,224

当第1四半期累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コレット チャック部門	切削工具部門			自動旋盤用 カム部門	
		別注切削工具の 製作・再研磨	市販切削工具 の再研磨	小計		
工具製作	277,501	36,252	—	36,252	2,605	316,359
その他	—	—	79,393	79,393	—	79,393
顧客との契約から生じる 収益	277,501	36,252	79,393	115,645	2,605	395,752
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	277,501	36,252	79,393	115,645	2,605	395,752